



観光や物流だけでなく、ITの分野においても沖縄はアジアの中心を目指しています。



アジアの「スマートハブ」沖縄の可能性

その他の事業としては、沖縄国際情報通信ネットワーク(海底光ケーブル)があります。これは、首都圏から沖縄、そしてアジアを直接接続する海底光ケーブルで、大容量のデータ配信を可能にするというものです。アジアと日本をつなぐ新たなビジネスを創出します。



沖縄国際情報通信ネットワーク(海底光ケーブル)

首都圏～沖縄～香港～シンガポールを接続する海底光ケーブルを整備。高速・大容量・低価格のネットワークを構築し、アジアとの双方性ビジネスを創出する環境を提供。また、本土との遠隔性も利点で災害などに備えた県内のバックアップ拠点と接続する。



沖縄IT津梁パーク

国内外の情報通信関連産業的一大拠点の形成を目指すピッゲプロジェクト。IT産業だけでなく沖縄全体の発展にも繋がっている。09年度より供用を開始し、今後も新たな施設を建設予定。

沖縄ITイノベーション戦略センター(ISCO)



IoT 利用促進ネットワーク基盤構築・実証事業

11月に行われた尚巴志ハーフマラソンでは、救護班にGPSセンサを取り付け、運営本部の指示による迅速な救護対応や、暑さ指数を一括で把握する仕組みの実証を行った。



沖縄型オープンイノベーション創出促進事業

国内外のIT企業を中心に、それ以外の企業や団体とマッチングすることにより、新たなイノベーションを起こす試み。9月には農業とITをつなぐフューチャーセッションを行った。

Q3

具体的に進んでいるプロジェクトはあるの?

A
ISCや海底光ケーブルなど様々なプロジェクトが進行中だよ

A
施設の開設や国際見本市の実施など、まだ計画があるよ

Q4

今後はどうなっていくの?

A
今後は、沖縄IT津梁パークに、アジアITビジネスセンター(仮称)の開設を予定しています。目的は、県内IT企業との連携・協業による国内外向けビジネス展開を支援するため、企業や人材などの集積環境を整備するというもの。これによつて、県内IT産業の高度化、多様化を図ります。また、2020年開催に向けて、国際IT見本市も計画されています。県内で国際的な見本市や商談会などをを行うことで、活性化はもとよりIT産業における沖縄の知名度やブランド力の向上を目指します。

誰もが「沖縄はITの中心」と認識する日は近いぞ!



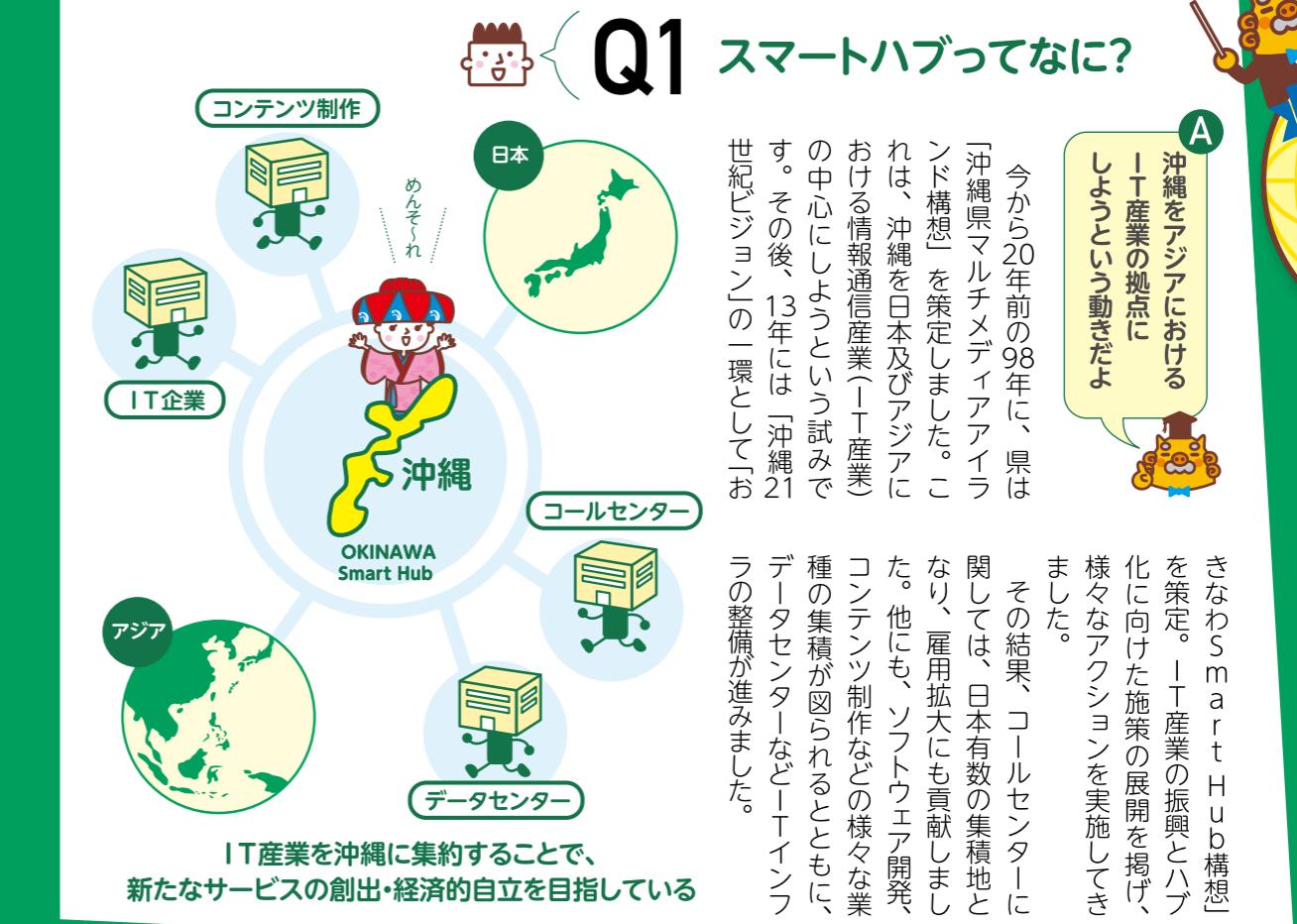
アジアITビジネスセンター(仮称) [イメージ図]



国際IT見本市



県民総ぐるみで飲酒運転根絶!
[飲酒運転をしないさせない許さない]



いちばんの理由は、その立地条件。沖縄は「アジアに最も近い日本」。空路で4時間圏内には、国内はもちろん、中国や台湾の他、タイやベトナムなどのASEAN諸国も含まれます。人口でいえば、約20億人と巨大なマーケットにアクセスしやすい環境なのです。逆に、本土から数百km離れていることでもあって、世界有数の地震大国である我が国では災害リスクを分散できるという利点もあります。

加えて、観光や物流が非常に活性化しているのも重要。那霸空港が拡張し、大型クルーズ船が多数寄港しているのはご存知の通り。人や物の流れが活発になればなるほど、IT産業も発展していくのです。



県民総ぐるみで飲酒運転根絶!
[飲酒運転をしないさせない許さない]

